

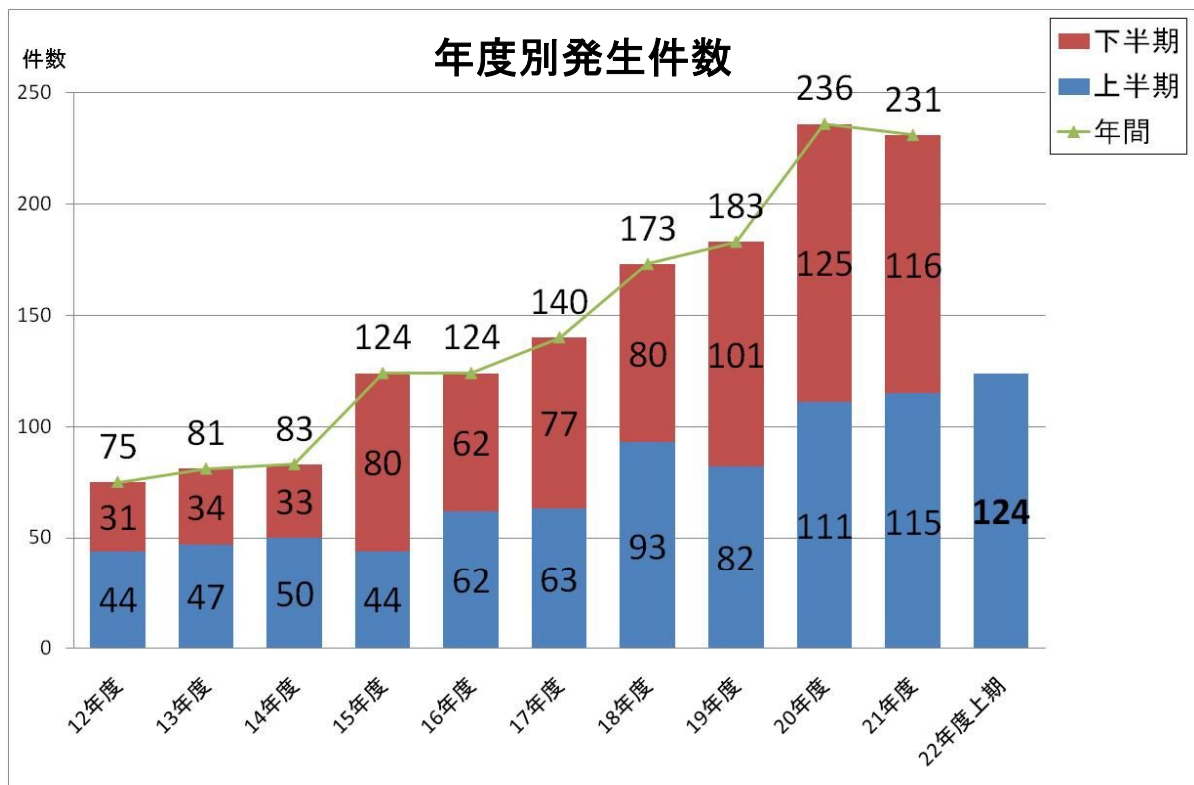
鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成 22 年度上期 / 大手民鉄 16 社)

社団法人日本民営鉄道協会では、大手民鉄 16 社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成 22 年度上期（4 月～9 月）6 ヶ月間に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行いました。

暴力行為の発生件数は 124 件（対前年同期 + 9 件）となり、平成 12 年度の調査開始以降、過去最悪の件数となっています。

暴力行為が発生する状況としては、酩酊されたお客様に近づいた時や理由なく突然に行われるケースが多く、時間帯については、深夜に発生することが多い傾向にあります。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しております。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、引き続き啓発ポスターの掲出などを実施してまいります。



（ご参考）以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

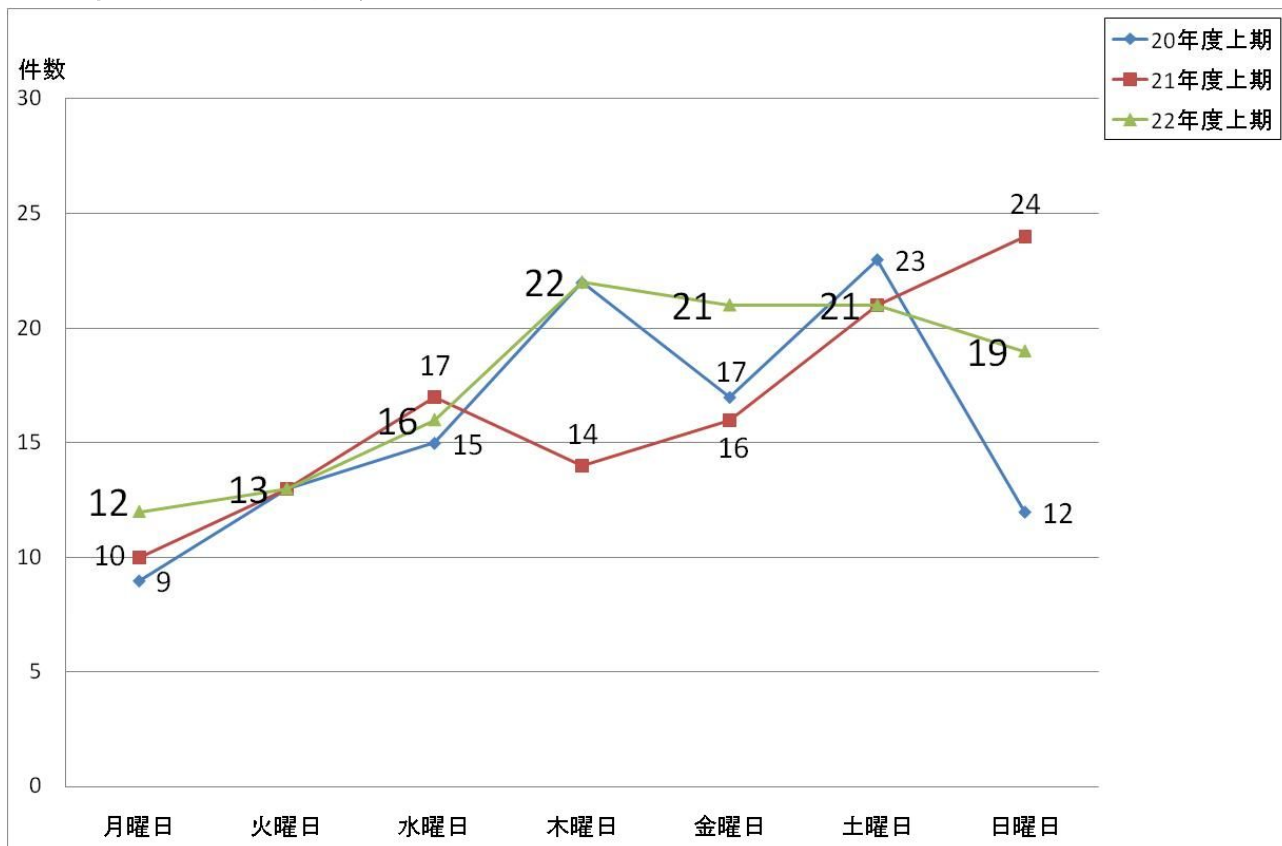
1. 発生曜日
2. 発生時間帯
3. 発生場所
4. 発生契機
5. 加害者年齢
6. 加害者の飲酒の有無
7. 具体的事例

本日、この資料は下記の記者クラブにお届けしています

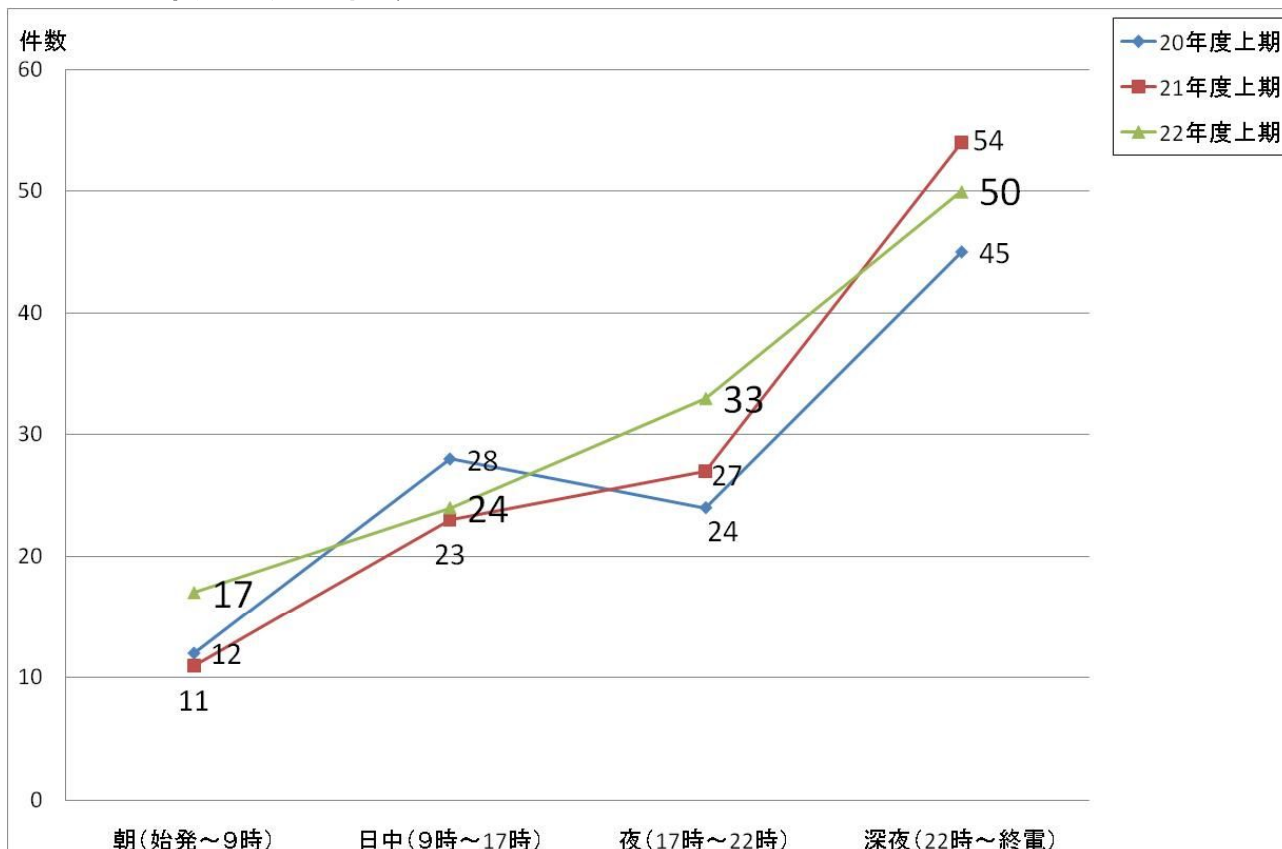
国土交通記者会・ときわクラブ・東海交通研究会・青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ・福岡経済記者クラブ

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等（詳細）

1. 曜日別 発生件数

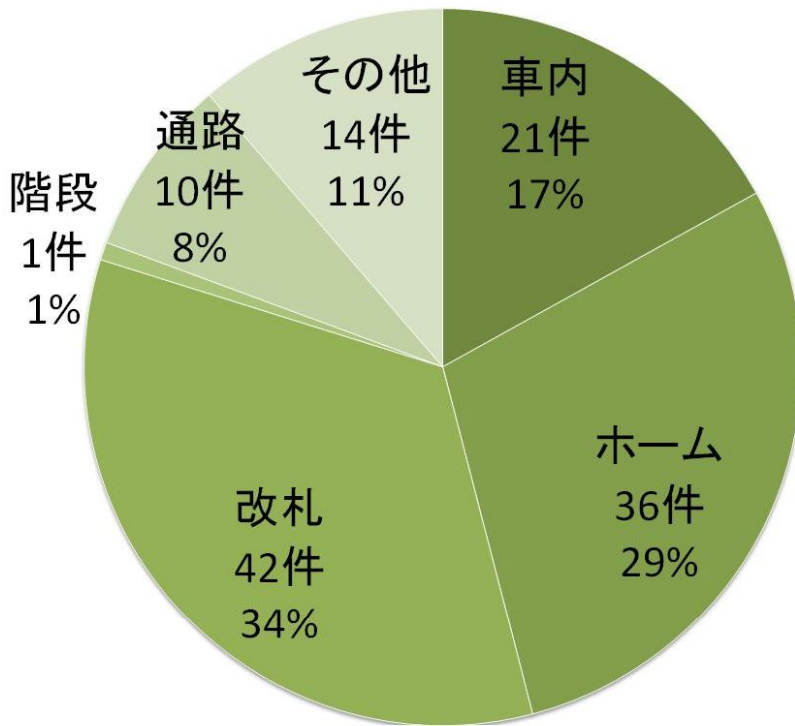


2. 時間帯別 発生件数

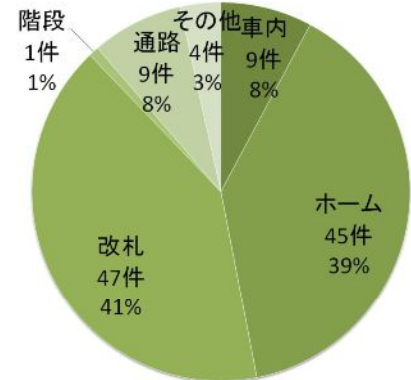


3. 主な場所別 発生件数

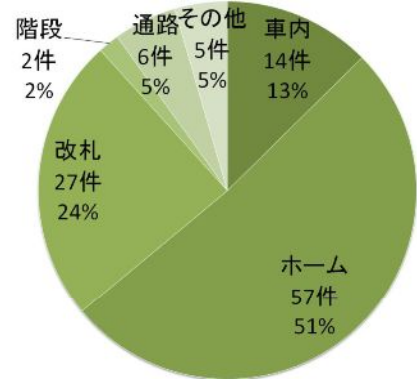
22年度上期



21年度上期

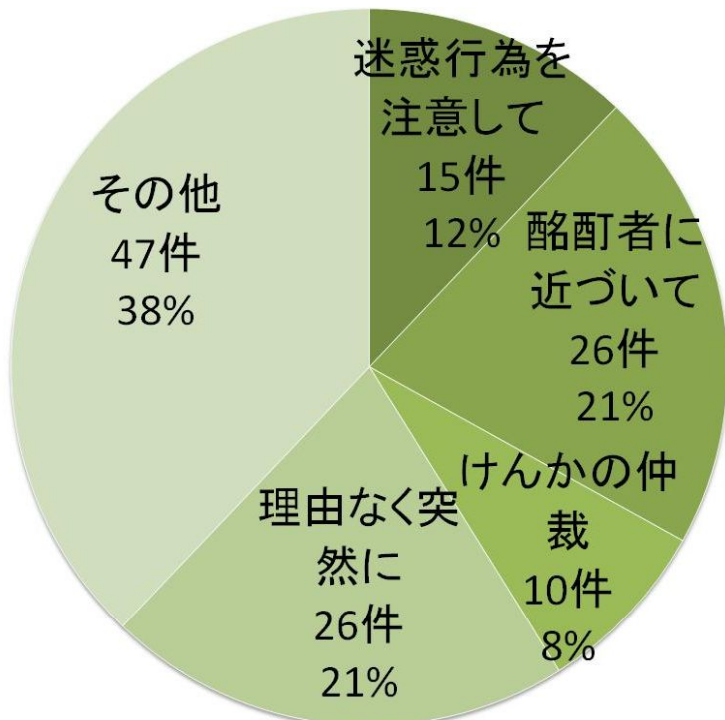


20年度上期

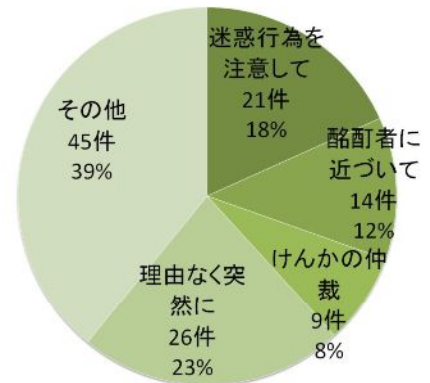


4. 主な契機別 発生件数

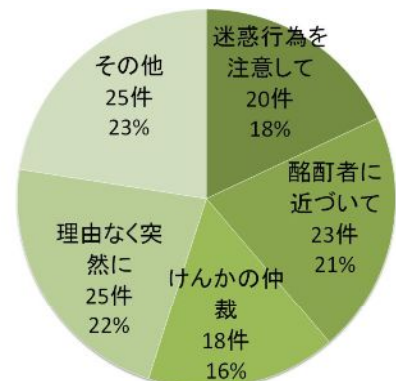
22年度上期



21年度上期

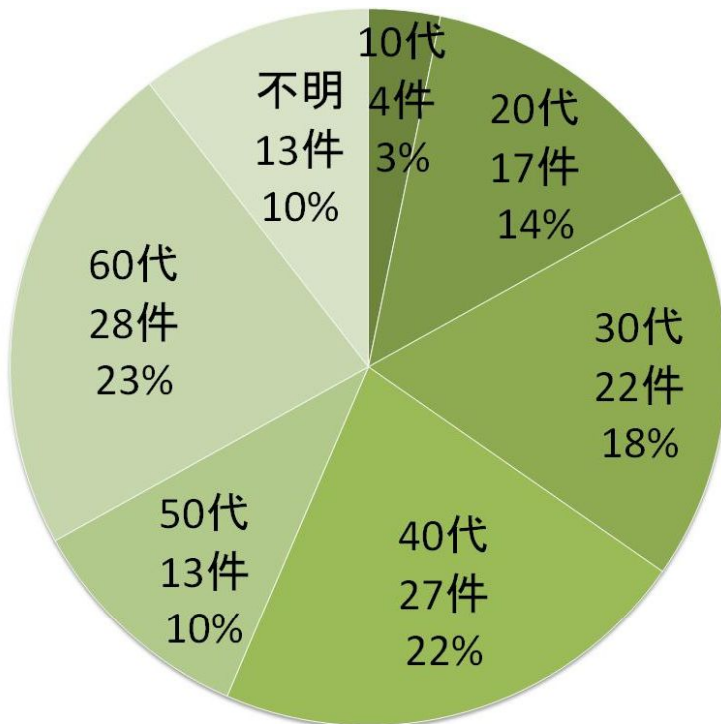


20年度上期

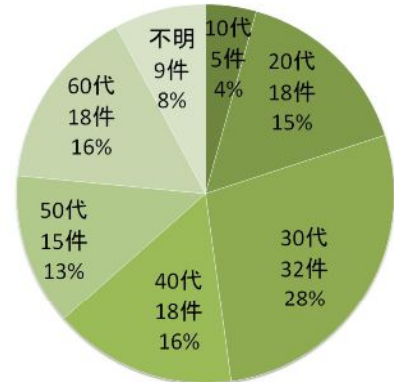


5. 加害者年齢

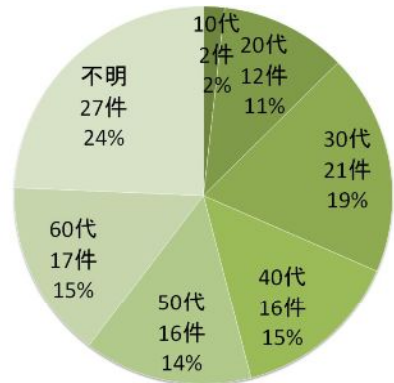
22年度上期



21年度上期

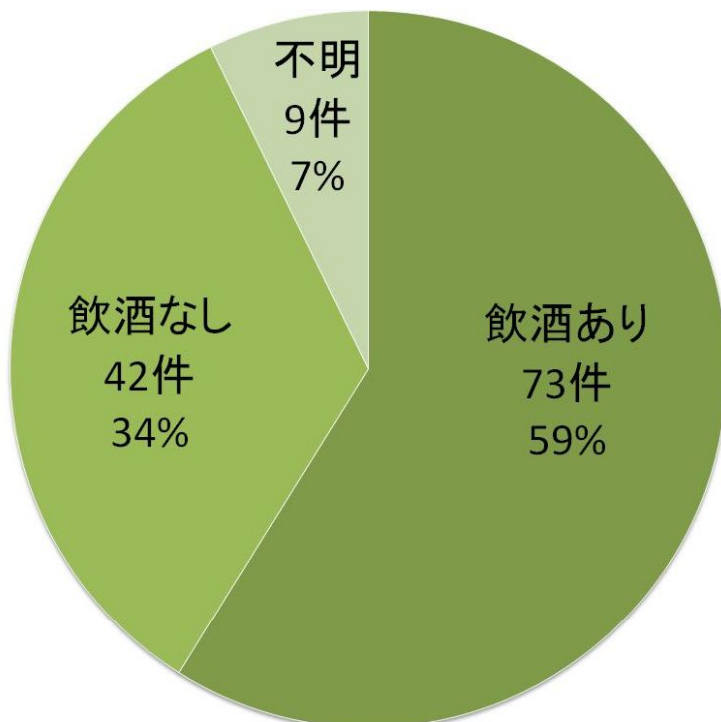


20年度上期

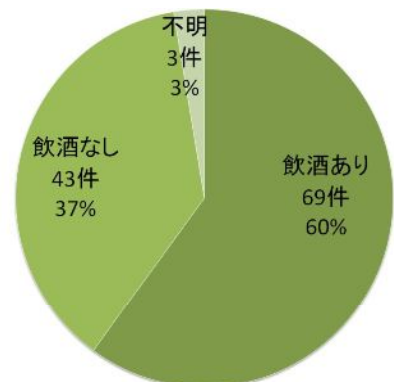


6. 加害者の飲酒状況

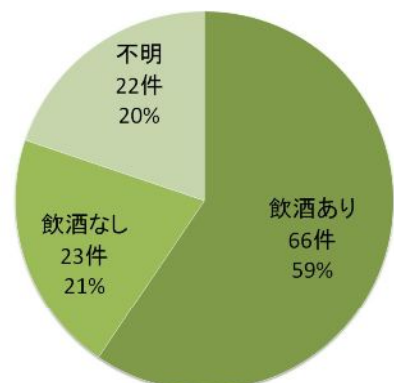
22年度上期



21年度上期



20年度上期



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	水曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	60歳代	飲酒	あり

終点駅の車内点検で、座席に寝ていたお客様を駅員が起こして降車していただいたが、降車したとき突然加害者に蹴られた。その後、警察に通報する旨を話したところ殴られた。

【事例2】

曜日	日曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	車内
契機	理由なく突然に	年齢	60歳代	飲酒	あり

車掌が特急車内において、座席確認のため、寝ているお客様にお声をかけたところ、加害者は「何で起こすのか」と急に怒りだし、暴言をはかれ左上腕部から左胸あたりを殴られた。
(全治5日)

【事例3】

曜日	木曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	理由なく突然に	年齢	40歳代	飲酒	あり

着席整理券が必要な列車に、同券を所持せず無理に乗車しようとしたお客様に、運転士が同券の購入をご案内したところ、突然加害者に右腕で左上腕部を殴られた。
(全治2日)

【事例4】

曜日	木曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	改札
契機	けんかの仲裁	年齢	10歳代	飲酒	なし

駅員が改札窓口で勤務していたところ、中学生風男女3人が小児用乗車券で下車したので不審に思い声をかけたが、暴言を吐くばかりで話にならず、警察官を要請した。その後、男性が急に暴れ出し到着した警察官に暴行した。このままでは旅客に危害が加わると感じたため、駅員が止めに入った際、みぞおちを殴打された。
(全治7日)

以上